

- 問1 平安時代中期、社会の混乱や災害への不安から、「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがれば、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という教えが貴族から民衆へと広まりました。この信仰の名称と、当時の有力者である藤原頼通がその教えに基づいて建立した、極楽浄土の様子を再現したとされる建築物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 真言宗 ― 金剛峰寺      2. 浄土教 ― 平等院鳳凰堂      3. 禅宗 ― 慈照寺銀閣      4. 天台宗 ― 延暦寺根本中堂
- 
- 問2 平安時代の政治状況について、ドイツ出身のエマさんと日本の高校生が会話をしています。この時代の地方政治の実態を説明する内容として正しいものはどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 国司は中央から派遣される役人であったが、この時期にすべて武士へと置き換わり、封建的な主従関係が確立した。      2. 一部の有力な国司は受領と呼ばれ、任地に赴いて徴税に励む一方で、私的な蓄財を行うなど地方政治が混乱する要因となった。      3. 全国の農村で二毛作が一般化し、経済的に豊かになった農民が国司の権限を代行するようになった。      4. 地方政治の乱れを解決するため、天皇が直接地方を統治する親政が始まり、国司制度は完全に廃止された。
- 
- 問3 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂      2. 鹿苑寺金閣      3. 中尊寺金色堂      4. 東大寺大仏殿
- 
- 問4 平安時代に藤原道長が摂関政治の最盛期を築き、後に平清盛が武士として初めて政治の実権を握った際、両者が共通して用いた権力掌握の手法について、正しく述べたものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 全国の土地をすべて一族の私有地として没収し、その経済力を背景に天皇の政治的権限を完全に排除する手法      2. 地方の武士団をすべて軍勢力で制圧し、天皇を退位させて自らが新しい王朝の始祖として即位する手法      3. 宋などの海外諸国との貿易を独占し、その利益をすべて朝廷に献上することで、天皇から政治の全権を委ねられる手法      4. 自分の娘を天皇のきさきとして嫁がせ、その間に生まれた子を天皇に立てることで、天皇の外戚として実権を握る手法
- 
- 問5 奥州藤原氏が拠点とした平泉の文化や歴史的背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 運慶や快慶などの仏師が活躍し、東大寺南大門に金剛力士像が安置された。      2. 聖武天皇の命により、国家の安寧を願って東大寺の大仏が造られた。      3. 足利義満によって、公家文化と武家文化が融合した金閣が建立された。      4. 浄土信仰の影響を強く受け、中尊寺金色堂などの華麗な寺院が建立された。
- 
- 問6 11世紀後半、藤原氏による摂関政治が衰える中で、天皇が位を譲って上皇となり、摂関家や貴族の力を抑えて政治の実権を握る仕組みを「院政」と呼びます。この院政を最初に開始した人物として正しいものを選んでください。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 藤原道長      2. 平清盛      3. 後鳥羽上皇      4. 白河上皇
- 
- 問7 奈良時代には正倉院の「螺鈿紫檀五絃琵琶」に象徴されるような国際色豊かな文化が見られましたが、その後の平安時代に成立した国風文化の特色を説明した文章として、正しいものを選んでください。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、これまでの大陸文化を日本の風土や好みに合わせる傾向が強まった。      2. 大陸の影響を完全に排除するため、仏教信仰を禁じて日本古来の神道のみを重んじる文化が形成された。      3. かな文字の発達により、それまで漢字だけで書かれていた『万葉集』がすべて書き直され、武士の間で流行した。      4. アメリカ大陸との交易が活発になったことで、西洋の楽器や新しい文字体系が日本の伝統文化と融合した。
- 
- 問8 奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂のような大規模な寺院を建立し、都の文化を取り入れながら独自の文化を発展させることができた経済的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. この地域で産出される豊富な金や、馬などの北方特産物の取引によって莫大な富を得ていたから。      2. 瀬戸内海の海上交通を支配し、西日本各地の物資を独占的に扱っていたから。      3. 大陸から伝わった最新の農業技術を導入し、米の生産高が全国で最も多かったから。      4. 鎌倉幕府の執権から、東北地方の統治費用として多額の援助金を受けていたから。
- 
- 問9 日本の古代において、律令制をはじめとする国家体制が整備された背景と目的について述べた記述として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国の憲法を参考に、国際社会で対等な貿易を行うための近代的な国家体制の構築を急いだ。      2. 中国(唐)を中心とした東アジア諸国の優れた制度を学び、天皇を頂点とした中央集権的な国家を築こうとした。      3. 地方の有力な武士たちが自らの領地を確実に支配するため、共通のルールとして独自の法律を定めた。      4. 民衆が政治に直接参加できる権利を保障し、話し合いによって国の重要事項を決定する民主的な仕組みを整えた。
- 
- 問10 平安時代、地方の有力者は自ら開墾した土地を確実に所有し、国司からの課税を逃れるために、中央の有力な貴族や寺社に土地の権利を譲り渡しました。このように、寄進を受けることで成立・拡大した私有地を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 班田収授法      2. 寄進地系荘園      3. 公地公民      4. 地租改正
- 
- 問11 平安時代末期に武士として初めて太政大臣に就任した平清盛が、経済的な基盤を強めるために積極的に行った対外貿易とその主な航路について述べたものとして正しいものはどれか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 日本海側の航路を整備し、大陸の唐との間で遣唐使の派遣を継続した。      2. 東シナ海の航路を独占し、大陸の元との間で大規模な貿易を行った。      3. 瀬戸内海の航路を整備し、中国の宋との間で日宋貿易を行った。      4. 太平洋側の航路を開発し、南方の琉球王国との間で中継貿易を行った。
- 
- 問12 平安時代の権力構造を示す記録によると、藤原氏は天皇の成長段階に合わせて特定の役職に就くことで、長期にわたり政治の主導権を握り続けました。この仕組みにおいて、天皇が成人した後の役割について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 天皇が成人した後に置かれ、天皇に代わってすべての裁定を下す管領      2. 天皇が幼少の間に置かれ、天皇の代わりに行政の全権を担う摂政      3. 天皇が成人した後に置かれ、その事務を助けて国政を補佐する関白      4. 天皇が成人した後に置かれ、軍事権を掌握して武士を統率する征夷大將軍
- 
- 問13 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏などの貴族が居住していた建築様式について説明した文として適切なものはどれですか。この様式は、池のある広い庭園を囲むように建物配置され、風通しを良くする工夫がなされているのが特徴です。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 書院造      2. 武家造      3. 高床建築      4. 寝殿造